

稲作栽培Ⅱ

講師名	小田中 温美	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、高品質良食味米を生産するための生理・生態や基本的栽培技術についての講義を担当する。
-----	--------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・農産	必修	2	通年	135	9
使用教科書・副教材	農学基礎シリーズ作物学の基礎Ⅰ 食用作物(農山漁村文化協会) 病害虫・雑草フィールドブック【水稻編】(全国農業会議所)、いわての農作物雑草図鑑(岩手県植物防疫協会)、令和2年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針(岩手県)、【農学基礎セミナー】新版作物栽培の基礎(農山漁村文化協会)					
授業の目的	岩手県の主要な水稻品種の高品質良食味米を生産するための生理・生態や基本的栽培技術を理解する。					
授業の到達目標	稲の生理・生態及び基本的な栽培技術と応用力を身につける。					

月	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月	育苗管理、直播技術	種子予措、播種、育苗期の管理、育苗期の病害中対策、直播栽培の概要を学習する。	4	講義	
5月	移植前後の管理と分けつ期の管理	耕起・代かき、施肥、移植、雑草防除を学習する。水田雑草の防除、生育調査、病害虫発生状況調査手法を学習する。	4	講義	
6月	分けつ期の管理 病害診断と追肥	水田雑草の防除、生育調査、病害虫発生状況調査手法を学習する。中干し等水管理、葉いもち病の診断と防除方法、栄養診断と追肥について学習する。	10	講義	
6月17、18日	米の産地維持と加工	国内有数の米のブランド産地の現状と米の加工について学習する。	16	事例 研究	レポート
8月	出穂前後の管理	出穂前後の水管理と畦畔管理を学習する。斑点米カメムシ類の防除を学習する。	4	講義	
9月	収穫期の管理と登熟と収量	収穫適期診断手法、収穫前の水管理を学習する。	4	講義	
10、11月	収量と収量構成要素	収量及び収量構成要素調査手法を学習する。	26	講義	
11月11、12、13日	農業分野の先端技術	農林水産・食品産業の先端技術について学習する。	24	事例 研究	レポート
12、1月	調査データ解析手法	稲作経営調査手法を理解する。調査データ解析手法、栽培全体のまとめを理解する。	40	講義	
2月	まとめ	学習内容の総まとめ	4	講義	
合計			136	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験60%、平常点40%(出席状況、学習態度、提出物)

履修に当たっての留意点等

受講に際しては、事前に教科書・参考書等に目を通しておくことが望ましい。授業は教科書に沿って行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。授業形態は主に板書をして行う。圃場での授業の際は事前に連絡するので確認すること。